

編集後記

記念すべき学会ニュース第100号をお届けすることができました。70年を超える日本社会福祉学会の歩みを振り返りつつ、今を見つめ、これからを考える——そんな思いを込めて編集しました。

空閑会長には10月に開催された第73回秋季大会の報告をしていただきました。「学問としての社会福祉学の思想的基盤に今一度立ち返り、その理論と実践の根源を問い直したい」という思いを学会員みなさんと共有したいと思いました。学会賞を受賞された会員の皆様のあいさつ文からは、研究への情熱と社会へのまなざしが感じられ、編集部一同、感動いたしました。

広報員会座談会企画「社会福祉学会は資格や専門職養成にどのように関与するか？」は第3回を迎えました。資格と福祉教育の関係をめぐって議論がいよいよ熱を帯びてきています。続きも楽しみにお待ちしております。

また、本年逝去された名誉会員の大友信勝先生の追悼文を戸田典樹会員にお寄せいただきました。「社会的に最も困難な立場にある人々の暮らしを守る」という先生の信念の軌跡と功績が丁寧に綴られています。学恩のない若い世代の会員が多くなっていますが、先生への敬意と感謝を込めて掲載いたしました。

最後に、新しく作成した入会案内チラシの紹介も。これからもより多くの方々と学びを共有できるよう願っています。会員の皆様の日頃からのご支援に心より感謝申し上げますとともに、これからもよろしくお願いいたします。

大澤朋子（実践女子大学）